

令和 5 年 度

四 日 市 港 管 理 組 合
当 初 予 算 の 概 要

四 日 市 港 管 理 組 合

令和5年度 四日市港管理組合当初予算の概要

1 予算編成の考え方

令和5年度は、「四日市港戦略計画 2023～2026（案）」（以下、「次期戦略計画」という。）のスタートの年となります。

令和5年度当初予算については、次期戦略計画に掲げた「背後圏産業の持続的な成長を支える港づくり」、「親しまれ、賑わう港づくり」、「地域の安全・安心と環境を守る港づくり」の3つの政策を着実に推進していけるよう編成しました。

2 予算の規模

令和5年度四日市港管理組合当初予算は以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	令和4年度 当初予算額 (A)	令和5年度 当初予算額 (B)	増減額	伸び率
一般会計 (県市負担金)	6,313,562 (2,914,041)	6,971,748 (2,931,697)	658,186 (17,656)	10.4 (0.6)
港湾整備事業 特別会計	12,343,587	4,899,226	△7,444,361	△60.3
合 計	18,657,149	11,870,974	△6,786,175	△36.4

① 一般会計

一般会計における令和5年度当初予算額は、69億7,174万8千円です。令和4年度当初予算額と比較すると6億5,818万6千円の増となっています。

これは、霞ヶ浦地区北ふ頭81号耐震強化岸壁整備等に係る国直轄事業負担金及び国補公共事業が6億2,263万円増加することなどによるものです。

② 港湾整備事業特別会計

特別会計における令和5年度当初予算額は、48億9,922万6千円です。令和4年度当初予算額と比較すると74億4,436万1千円の減となっています。

これは、霞ヶ浦地区北ふ頭81号耐震強化岸壁背後の用地整備費用が73億8,000万円減少することなどによるものです。

3 主な事業及び予算額

政策 1 背後圏産業の持続的な成長を支える港づくり

2050年カーボンニュートラルに向けた社会・経済情勢や産業構造の変革に伴い、背後圏産業の主要なエネルギー源が変化していく中で、四日市港は、これまでと変わらずエネルギーの受入・供給拠点としての役割を果たしていく必要があります。

また、背後圏産業の様々なニーズに応じていくため、港湾サービスのさらなる充実を図るとともに、港湾施設の整備や高度化・効率化などによる霞ヶ浦地区の港湾機能の強化も進めていく必要があります。

このため、引き続き、カーボンニュートラルポート形成に向けた取組を推進するとともに、背後圏産業のニーズに対応した港湾サービスや港湾施設の充実を図る取組を進めます。

カーボンニュートラルポート形成に向けた取組については、「四日市港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」に基づき、関係者が一体となって四日市港におけるカーボンニュートラルポートの形成を推進します。

港湾サービスの充実については、四日市港利用促進協議会を核とした官民連携によるポートセールスや四日市港からの三重県産農林水産物・食品の輸出拡大に取り組むとともに、港湾活動支援サービスを適切に提供します。

港湾施設の充実については、コンテナ船の大型化に対応するとともに、大規模地震発生時の物流機能を維持するため、霞ヶ浦地区国際物流ターミナルの整備を進めるとともに、老朽化が進んでいる岸壁の改良や荷役機械の大規模修繕等を実施します。

<主な事業>

施策 101 カーボンニュートラルポートの形成に向けた取組の推進

- ・ 四日市港のCNP形成に向けた推進組織運営経費（企画調査費・事務費） 329千円

四日市港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画の進捗状況を確認・評価し、水素、燃料アンモニア等の受入環境の整備等を着実に進めていくため、四日市港のCNP形成に向けた推進組織の会議を開催します。

【新】

- ・ 中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議負担金（企画調査費・事務費） 250千円

中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議に参画し、中部圏における大規模な水素・アンモニアの社会実装を推進するため、関係団体と連携して取り組みます。

施策 102 背後圏産業の動向を捉えた港湾サービスの充実

【一部新】

- ・ 荷主企業四日市港利用支援事業補助金（ポートセールス事業費） 70,000 千円
〔 外貿コンテナ貨物を新たに取り扱う荷主企業及び取扱個数を一定以上増加させた荷主企業を支援します。
また、四日市港からの三重県産農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、補助金の加算要件に「三重県産農林水産物・食品の輸出」を追加します。 〕
- ・ 基幹航路等コンテナ船寄港誘致事業補助金（ポートセールス事業費） 31,200 千円
〔 新たに四日市港に寄港するコンテナ航路（基幹航路・アジア航路）を開設した船会社を支援します。 〕
- ・ 船会社集荷促進事業補助金（ポートセールス事業費） 32,000 千円
〔 外貿コンテナ取扱個数を一定量以上増加させた船会社を支援します。 〕

【新】

- ・ 全国輸出入コンテナ貨物流動調査（政策推進基礎調査費） 2,200 千円
〔 5年に1度全国的に実施する統計調査として、外貿コンテナ貨物の流動実態について調査を行います。 〕

【新】

- ・ ひき船建造設計業務委託（ひき船建造費） 13,898 千円
〔 老朽化したひき船「ちとせ丸」の代船建造にかかる設計業務を行います。 〕

【新】

- ・ ひき船運航業務受皿会社への出資金（ひき船「ちとせ丸」運営費） 10,000 千円
〔 ひき船運航業務の外部委託化に向けて、地元港湾関係者等とともに設立するひき船運航業務受皿会社に出資を行います。 〕

施策 103 背後圏産業の動向を捉えた港湾施設の充実

・霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備【公共】

霞ヶ浦地区北ふ頭 81 号耐震強化岸壁整備（国直轄事業負担金）① 1,942,000 千円
霞ヶ浦地区北ふ頭用地整備（港湾施設改修費）② 2,000,000 千円

（ 物流の効率化や地域産業の競争力強化、サプライチェーンの強靱化、
災害対応力の強化を図るため、霞ヶ浦地区北ふ頭 81 号耐震強化岸壁
及び背後のふ頭用地整備を行います。 ）

・東防波堤改良（国直轄事業負担金）【公共】③ 45,000 千円

（ 供用から 60 年以上が経過し、老朽化が進んでいる東防波堤の予防保全
を行います。 ）

・霞ヶ浦地区南ふ頭 27 号岸壁改良（国補港湾施設整備事業費）【公共】④ 200,000 千円

（ 供用から 40 年以上が経過し、老朽化が進んでいる霞ヶ浦地区南ふ頭
27 号岸壁の予防保全を行います。 ）

【新】

・霞ヶ浦地区北ふ頭 80 号岸壁コンテナクレーン N-2 号機大規模修繕及び塗装

（港湾施設改修費）【公共】⑤

350,000 千円

（ 供用から 17 年が経過したコンテナクレーンについて、電気設備の大規
模修繕及び塗装を行います。 ）

※事業名の右の○数字は、P9 施工箇所図の位置を示しています。

政策2 親しまれ、賑わう港づくり

「四日市みなとまちづくりプラン（基本構想）」の実現に向け、四日市地区の一部の老朽化・遊休化した港湾施設等の利用転換に向けた取組を進め、四日市市が進める中央通りの再編や港を生かしたまちづくりとも連携を図りながら、四日市地区での賑わいづくりに取り組んでいく必要があります。

一方、霞ヶ浦地区等においては、県民・市民が四日市港の役割などを理解し、親しみや愛着を感じていただくために、親しまれる港づくりに向けた取組を進める必要があります。

このため、四日市地区において、歴史的・文化的資源を生かした交流機会の創出等を図るとともに、引き続き、四日市みなとまちづくり協議会が実施する事業に管理組合として連携して取り組みます。

また、四日市地区の賑わい空間の形成に資するよう、老朽化・遊休化の進んだ千歳運河沿いの物揚場について景観に配慮した護岸の整備を進めます。

霞ヶ浦地区等においては、県民・市民に眺望を楽しみながら四日市港に対する理解と関心を深めていただくために、ポートビルを拠点とした学習機会や交流機会を提供するとともに、展望展示室や緑地・公園を適切に維持管理します。

<主な事業>

施策201 まちづくりと一体となった港づくり

- ・ 四日市港まつり実行委員会等負担金（イベント・交流事業費） 8,760千円
〔 県民・市民に四日市港の魅力にふれていただく機会となるよう、多様な主体と連携して、四日市港まつりやまちあるきイベントを開催します。 〕

- ・ 四日市みなとまちづくり協議会負担金（企画調査費・事務費） 3,000千円
〔 四日市みなとまちづくり協議会に参画し、官民一体となって四日市地区の賑わいづくりに取り組みます。 〕

【一部新】

- ・ 四日市地区千歳町3号、5号物揚場護岸改修等（社会資本総合整備事業費）
（単独港湾施設整備事業費）
【公共】⑥⑦ 310,000千円
〔 老朽化・遊休化した四日市地区千歳運河沿いの物揚場について、景観に配慮した護岸改修を進めます。 〕

施策202 親しまれる港づくり

- ・ ポートビル展望展示室の運営等（展望展示室運営事業費） 10,059千円
〔 展望展示室を社会見学や職場研修の場としても提供するとともに、夜景写真講座などのイベントを実施します。
また、展望展示室の適切な運営及び展示施設の保守管理を行います。 〕

政策3 地域の安全・安心と環境を守る港づくり

南海トラフ地震などに備えた耐震・耐津波対策等や台風の巨大化等を踏まえた防災体制の充実・強化など、背後地の住民、企業及び港の利用者等の安全・安心を確保するための取組を着実に進めていく必要があります。

また、四日市港に残された貴重な自然環境を保全していくことや風水害被害等の激甚化・頻発化の一因となっている温室効果ガスを削減していくため、港の脱炭素化を進めていく必要があります。

このため、地震・津波・高潮等の自然災害への対策として、護岸等の補強整備を進めるほか、計画的・効果的な維持管理や老朽化が進んだ施設の更新等を実施します。

さらに、国際航海船舶への不審者、不審物の侵入等を防止するため、テロ対策等の保安対策を実施します。

環境面では、「四日市港管理組合地球温暖化対策実行計画（第5次）」等に基づき、自然環境への負荷や燃料消費率が低い公用車及びひき船への更新を検討するとともに、ブルーカーボンの取組を進めます。

加えて、港湾の航行安全性の確保、環境を守るための放置艇対策を推進します。

<主な事業>

施策301 安全・安心を守る仕組と施設の充実

- ・ 1号地地区海岸護岸整備（社会資本総合整備事業費）【公共】⑧ 80,000千円
〔 1号地地区において高潮等による被害を防止するため、護岸の補強整備を行います。 〕

- ・ 富田港地区海岸護岸整備（社会資本総合整備事業費）【公共】⑨ 80,000千円
〔 富田港地区において高潮等による被害を防止するため、護岸の補強整備を行います。 〕

【一部新】

- ・ 四日市地区千歳町3号、5号物揚場護岸改修等（社会資本総合整備事業費）【再掲】
（単独港湾施設整備事業費）【再掲】
【公共】⑥⑦ 310,000千円
〔 老朽化・遊休化した四日市地区千歳運河沿いの物揚場について、安全性を確保するため、護岸改修を進めます。この際には、関係者とともに進める賑わいづくりに資するよう、景観に配慮した工法で進めます。 〕

【一部新】

- ・ 四日市港重要国際埠頭施設警備保安業務委託等（改正SOLAS条約対策推進費）
87,696千円
〔 港内の重要国際埠頭施設等への不審者や不審物等の侵入を防止し、港湾活動の安全性の向上を図るため、警備や保安設備の保全点検等を行います。 〕

施策 302 環境を守る機会と空間の充実

【新】

- ・電気自動車（EV）の購入（放置艇対策推進費） 2,700 千円
〔 温室効果ガス排出削減に向け、公用車 1 台を次世代自動車（EV）に更新します。 〕

【新】

- ・ひき船建造設計業務委託（ひき船建造費）【再掲】 13,898 千円
〔 老朽化したひき船「ちとせ丸」の更新にあたり、環境に配慮したバイオディーゼル燃料対応船舶の導入を検討します。 〕
- ・環境保全対策等（環境調査推進費） 10,907 千円
〔 港内の水質等の状況を把握するための環境調査を行うとともに、CO₂ 吸収源を拡大させるため、藻場造成などブルーカーボンの活用について検証を行います。 〕
- ・プレジャーボート対策（放置艇対策推進費） 5,808 千円
〔 沈没船化等により、港内における船舶の航行障害や環境悪化をもたらす放置艇の発生を防止するための対策を推進します。 〕

その他 (新たな四日市港長期構想の策定)
(四日市港港湾計画の改訂)

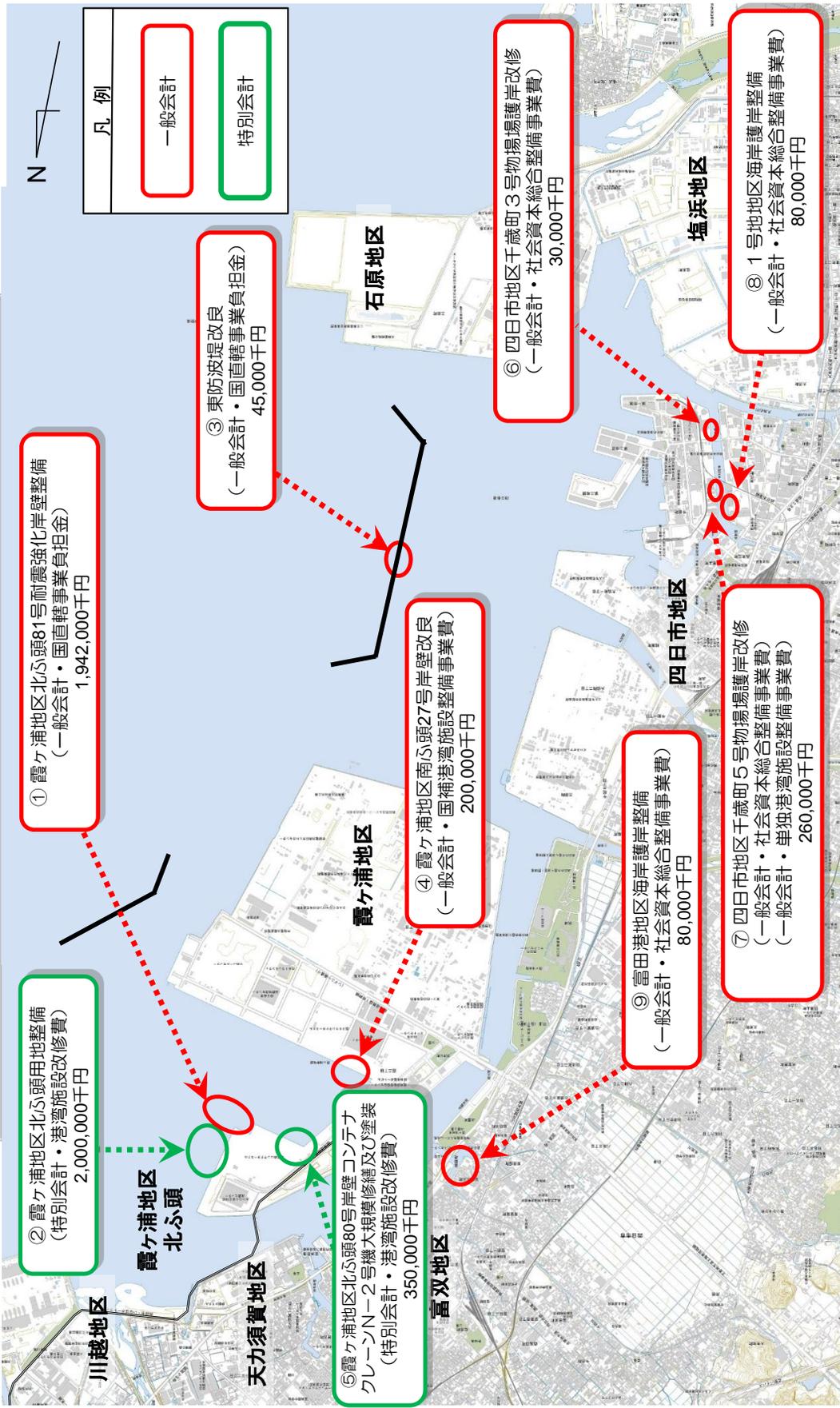
「四日市港長期構想検討委員会」を立ち上げ、社会情勢の変化や港湾への要請、四日市港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画の内容等を踏まえながら、新たな四日市港長期構想の策定を行います。

また、新たに策定する四日市港長期構想の内容等を踏まえながら、四日市港港湾計画の改訂に向けた調査を行います。

- ・ 新たな四日市港長期構想の策定（企画調査費・事務費） 38,000 千円
- ・ 四日市港港湾計画の改訂（四日市港港湾計画調査費） 34,200 千円

（社会経済情勢の変化や港湾への新たな要請などを踏まえながら、新たな四日市港長期構想を策定するとともに、四日市港港湾計画の改訂に向けた調査を行います。）

令和5年度 当初予算に係る主要事業 施工箇所図



(注) 国直轄事業については、管理組合の負担金ベースです。

令和5年度当初予算概要

(単位：千円)

科 目	R4当初(A)	R5当初(B)	比較(B-A)	伸び率(%)
一 般 会 計	6,313,562	6,971,748	658,186	10.4%
港 湾 整 備 事 業 特 別 会 計	12,343,587	4,899,226	△ 7,444,361	△60.3%
計	18,657,149	11,870,974	△ 6,786,175	△36.4%

【一般会計】

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
科 目	R4当初(A)	R5当初(B)	比較(B-A)	科 目	R4当初(A)	R5当初(B)	比較(B-A)
分担金・負担金	2,914,041	2,931,697	17,656	議 会 費	18,703	17,866	△ 837
県 負 担 金	1,620,207	1,630,024	9,817	総 務 費	802,291	945,246	142,955
市 負 担 金	1,293,834	1,301,673	7,839	港 湾 管 理 費	836,731	883,567	46,836
使用料・手数料	668,125	686,207	18,082	港 湾 建 設 費	2,310,200	2,910,630	600,430
国庫支出金	199,150	322,000	122,850	災 害 復 旧 費	100,000	100,000	0
県 支 出 金	23,860	24,134	274	公 債 費	2,244,637	2,113,439	△ 131,198
財 産 収 入	10,898	10,881	△ 17	予 備 費	1,000	1,000	0
繰 入 金	20,000	20,000	0				
諸 収 入	100,988	22,029	△ 78,959				
組 合 債	2,376,500	2,954,800	578,300				
計	6,313,562	6,971,748	658,186	計	6,313,562	6,971,748	658,186

【港湾整備事業特別会計】

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
科 目	R4当初(A)	R5当初(B)	比較(B-A)	科 目	R4当初(A)	R5当初(B)	比較(B-A)
使用料・手数料	1,483,551	1,509,785	26,234	管 理 費	1,043,037	950,258	△ 92,779
財 産 収 入	533,447	604,154	70,707	建 設 事 業 費	9,839,000	2,469,600	△ 7,369,400
繰 入 金	476,847	329,183	△ 147,664	公 債 費	1,461,550	1,479,368	17,818
繰 越 金	20,000	20,000	0				
諸 収 入	34,742	36,104	1,362				
組 合 債	9,795,000	2,400,000	△ 7,395,000				
計	12,343,587	4,899,226	△ 7,444,361	計	12,343,587	4,899,226	△ 7,444,361